

小中一貫教育だより

加東市教育委員会 小中一貫教育推進室

E-mail shochu-ikkan@city.kato.lg.jp

令和4年5月27日発行

東条学園小中学校の教育～つながりを大切にした取組～

昨年度、加東市で初めての小中一貫校として、東条学園小中学校が開校しました。小中一貫校では、小学校から中学校までの9年間を通した教育課程を編成することで、系統性とながりを大切にした教育が展開しています。また、小中学校の教員が一体となって子どもを指導することで、小学校高学年から中学2年生にかけて増える傾向にある不登校等に対応しています。

小中一貫校では、第Ⅰステージ（1～4年）、第Ⅱステージ（5～7年）、第Ⅲステージ（8・9年）の3つのステージを設け、各ステージで学びの向上とながりの力の育成を目指した教育に取り組めます。

今回は、東条学園小中学校で行われているつながりを大切にした教育の一端を紹介します。

◎子ども同士のつながりを大切にした学校行事（入学式・体育大会・感謝コンサート）



9年生が1年生の手をつないで入場した入学式



5～9年生が心をつなげて踊ったよさこい体育大会



卒業する9年生へ感謝の気持ちを伝えるコンサート

◎9年間の学びのつながりを大切にした取組

東条学園小中学校では、6年生と9年生が共に平和学習に取り組んでいます。今年度は、9年生が修学旅行で沖縄を、6年生が校外学習で広島を訪ねました。9年生は、ひめゆり平和祈念資料館で、多くの遺品にふれ、語り部さんのお話に耳を傾けることで、戦争の悲惨さや苦しみを肌で感じました。また、米軍基地「嘉手納」を訪ね、戦争の痕跡は過去だけでなく現在も続いていることを実感しました。

6年生の広島校外学習の前には、9年生から修学旅行で学んできたことを6年生へ伝える「つなぐ平和学習会」が開催されました。9年生からは、6年生へ向けて「平和について過去と現在を知ること、これからの未来をどのように切り拓いていくのかを考えよう」という力強いメッセージが送られました。このように、小中一貫教育では、学びのつながりを大切にした異学年交流を大切にします。

◎子どもの自治の力を育む学園会活動

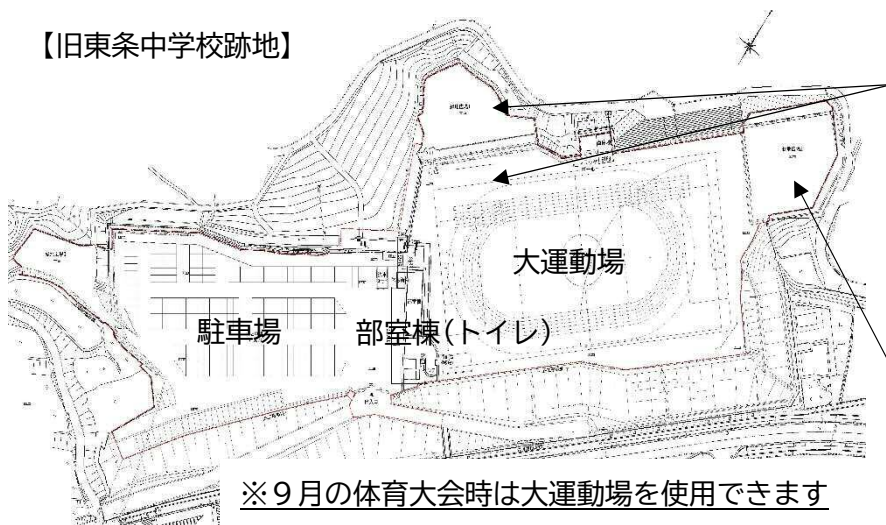
東条学園小中学校では、評議会、専門部委員会、学級委員会、校外児童・生徒会、部活動部長会など様々な学園会活動を通して、子どもに自治の力を育てています。右の写真は、今年度、リモートによる学園生総会で、専門部長（9年生）と副部長（7年生）が、5～9年生へ向けて活動計画を伝えている様子です。



～東条学園小中学校の進捗状況～

東条学園小中学校については、令和3年11月から旧東条中学校の体育館、柔剣道場、プールの解体工事に着手し、令和4年3月末に同施設の解体工事が完了しました。

【旧東条中学校跡地】



※9月の体育大会時は大運動場を使用できます

令和4年7月から、東条学園小中学校駐車場整備ほか工事に着手します。旧東条中学校の校舎棟・技術棟解体工事、東条学園小中学校の大運動場、駐車場整備、部室棟建設工事を行います。令和5年3月末の工事完成を予定しています。

【体育館と柔剣道場の解体状況】



【プールの解体状況】



～社地域小中一貫校の進捗状況～

社地域小中一貫校については、昨年度、実施設計を行い、増築校舎建築に向けて、準備を進めるとともに、社中学校既存校舎のトイレの洋式化工事と小学校グラウンド予定地であるカセ池の造成工事、社中学校の施設（プール棟、柔剣道場棟、部室棟）解体工事に着手しました。現在、トイレの洋式化工事は完了し、カセ池造成工事は令和4年5月末に、社中学校施設解体工事は令和4年7月末に完了予定です。

今年度7月からは、本体工事（増築校舎新設工事）が始まります。完成は、令和6年3月末です。令和6年度からは、社中学校校舎の長寿命化改修工事が始まります。この間、社中学校の生徒は、一旦完成した増築校舎へ移ります。長寿命化改修完成後は、再び中学校校舎に戻り、令和7年4月に社地域小中一貫校が開校します。

また、社地域開校準備委員会では、昨年度、愛称を公募し、選定を行いました。その結果、「社学園」に決定しました。今年度は、通学路、制服や校章、校歌について協議します。

～滝野地域小中一貫校の進捗状況～

滝野地域小中一貫校については、令和4年度には、基本計画の策定、用地測量等に着手します。また、滝野地域開校準備委員会を立ち上げ、地域の皆様と共に開校に向けた協議を進めます。

【社学園校舎イメージ図】

